

昇る朝日のごとく、若い力で中山間地を照らす希望の法人

農事組合法人あさひの輝き・まんてん（鶴岡市）

1 受賞者の概要

過疎化や農業担い手の減少が進む中山間地である鶴岡市朝日地域において、東岩本地区の農業維持発展に向け、「地区内の農地は自分達で守る」との方針のもと、平成 19 年 2 月に集落営農組織（任意組織）を立上げ、その後、若手の経営参画を促し、平成 27 年 1 月に農事組合法人を設立した。

大規模経営が困難とされる中山間地域において、若手を次々と従業員として採用し、水稻の規模拡大に加え、促成山菜などの園芸品目の導入を積極的に進め、収益性の高い経営を実践している。



水田の畦畔草刈作業を行う若手従業員

2 特色ある活動

（1）農地集積と作業効率の高い経営の実践

集落営農組織（任意組織）を設立し、高齢化等により、耕作できなくなった農地を引き受け、当初 35ha 程度だった農地を平成 29 年現在、地区全体の 3 分の 1 にあたる 51ha まで拡大した。他の担い手農業者とのすみ分けや連携を図ることで、農地全てが東岩本地区内、事務所から直線で 2 km 以内に存在しており、圃場から圃場への移動時間が少なく、特に水稻栽培においては効率性の高い経営を実現している。

（2）若者が主体で働く農業法人

当法人の構成員、従業員の計 9 名のうち 7 名は 20 歳代から 40 歳までの若手が占めている。構成員及び従業員の事情に応じて通年従事、冬を除く季節従事（ウィンタースポーツ関連業務との兼業）の 2 パターンで対応している。また、若手採用に伴い、所得確保と作業量確保（特に冬期）に向けて夏秋きゅうりや促成山菜の導入等経営規模の拡大を図っている。



宮崎代表(中央)と 4 名の若手従業員

若手の多数採用は長期的な経営継続性を高めたいという方針で実施している。

3 今後の発展方向

さらに、平成 30 年 4 月からは農林大学校生の採用も予定しており、園芸部門の拡大を進めるとともに、当面は、東岩本地区の約半分の面積に当たる 80ha 程度までの拡大を目指す方針である。まさに「昇る朝日のごとく、若い力で中山間地を照らす希望の法人」となるべく進んでいる。